

光星野西下し決勝

三農、青森山田に0-3

全国高校サッカー県予選

第10回全国高校サッカー

選手権青森県予選第4

日は20日、県総合運動公園

陸上競技場で準決勝が行

われ、光星が延長の末に野

西との兄弟校対決を3-

1で制し、3年ぶりの決勝

に進出を決めた。三農は健

闘し、15連覇を狙う青森

山田に0-3で涙をのん

だ。光星は後半、フリーキ

ック

ある攻撃で何度も相手コ

ール前を脅かしたが決め手

が、結局、ラスト10分

で迎えた延長後半、森外

志の2連続ゴールで勝利を

引き寄せた。森外は「自分

が決めたことうれしけれ

ど、チームが勝ったことが

うれしい」と笑顔を見せ

た。

森外と主将の東海林轟に

ボールを集めてチャンス

を作った光星。延長前半

に19本のシュートを放

たが、得点はわずか1点

だ。同後半は相手の運動

量が落ちたところを見逃

さ



【野辺地西-光星】延長後半7分、光星は森外志志がシュートを決め3-1と突き放す。県総合運動公園陸上競技場

つばり、畑中孝太監督は「普段通りの光星のサッカーをするだけ。相手に負けず、しっかりとボールを前に前につないで勝機を見いだしたい」と力を込めた。

高総体の雪辱ならず

○野辺地西は、県高校脚のけんを訴えてヒッソリと雪辱を目指して光星に挑んだ。最後まで集中力を切らすことなく、延長でも果敢に光星ゴールを狙ったが、一歩及ばなかった。試合終了を告げるホイッスルが鳴ると、多くの選手の目から大粒の涙がこぼれた。

野辺地西にとって、光星は今年の県高総体準決勝で惜敗した相手。光星を破れば、初の決勝進出となる大事な一戦でもあった。

「今週は疲労をためないトレーニングで、光星戦に照準を合わせてきた」(三上監督)。だが試合中に脚のけんを訴えてヒッソリと雪辱を目指して光星に挑んだ。最後まで集中力を切らすことなく、延長でも果敢に光星ゴールを狙ったが、一歩及ばなかった。試合終了を告げるホイッスルが鳴ると、多くの選手の目から大粒の涙がこぼれた。

野辺地西にとって、光星は今年の県高総体準決勝で惜敗した相手。光星を破れば、初の決勝進出となる大事な一戦でもあった。

「今週は疲労をためないトレーニングで、光星戦に照準を合わせてきた」(三上監督)。だが試合中に脚のけんを訴えてヒッソリと雪辱を目指して光星に挑んだ。最後まで集中力を切らすことなく、延長でも果敢に光星ゴールを狙ったが、一歩及ばなかった。試合終了を告げるホイッスルが鳴ると、多くの選手の目から大粒の涙がこぼれた。

光星 3-0-1 野辺地西

延長 1-1

延長 2-0

○光星が延長の末に兄弟校対決を制した。1-1で迎えた延長後半、森外志志の2連続ゴールで勝利を引き寄せた。森外は「自分が決めたことうれしけれど、チームが勝ったことがうれしい」と笑顔を見せた。

森外と主将の東海林轟にボールを集めてチャンスを作った光星。延長前半に19本のシュートを放たが、得点はわずか1点だ。同後半は相手の運動量が落ちたところを見逃さ